

# 施工事例

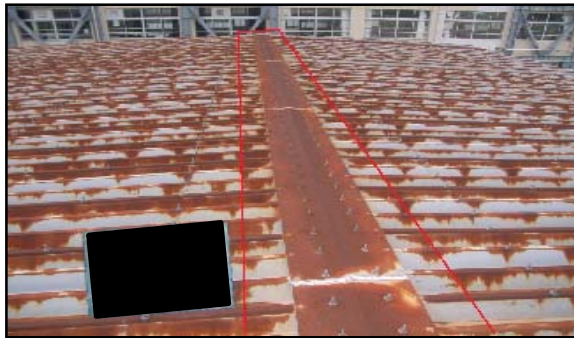
建築

No.1

件名 武道場屋根の修繕

内容 武道場屋根の棟部分からの雨漏りがあったので、既存板金の上から新規板金を被せるカバー工法で施工した。

施工前



施工後



## ■ 工夫のポイント

- 1 既存の面戸を残すことで、新規と合わせて二重面戸の形状となり、強風時の雨でも雨漏りすることがなくなった。



(既存の面戸)



(新規の面戸)

- 2 施設の運営面と経済性を考慮し、既存を残した状態で修繕を行った。その結果、撤去及び産業廃棄物の処理費用は要せず、また、施工の影響により武道場を閉鎖することは殆どなかった。
- 3 既存と新規の板金を可能な限り直接触れないようスペーサー（空間を確保するための金具）を設置するなどして、できるだけもらい錆を防ぐ納まりとした。（錆止塗装をすると更に効果が期待できる。）

## ★ ちょっとひと言

カバー工法とは…

既存の上から新しい材料を被せて施工する工法のことです。  
既存を解体・処分する手間がかからずコストを抑えられます。  
施設の運営面においても、比較的施工の影響が少なくなります。